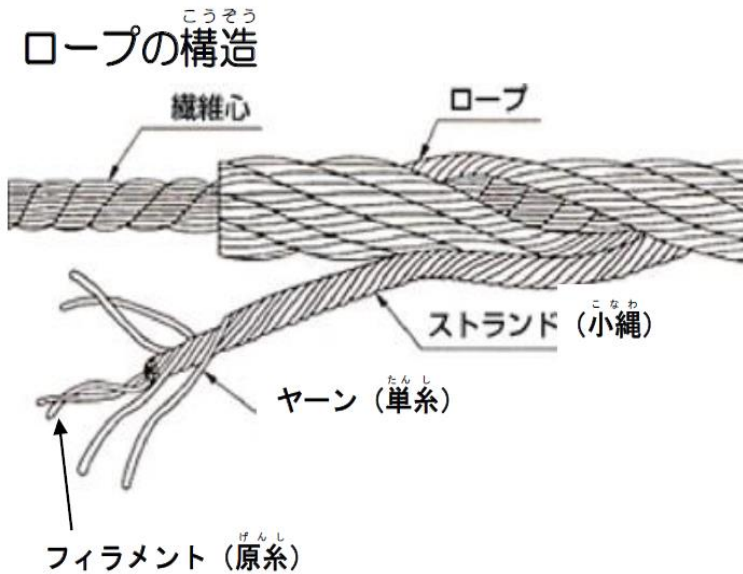


サブテキスト【救助章（2級）】

◎ ロープの構造



- ロープの材料には、天然繊維（麻・綿等）、合成繊維（ナイロン・テトロン等）、無機繊維（ガラス・炭素繊維）、半合成（アセテートなど）がある。
- 消防隊が主に使用するロープは、ナイロン製の太さが11～12mmロープの構造のもので、長さ30～100mの救助用と長さ3～5mの小綱の2種類に大きく別けられます。
このロープは操作性に優れ、強度、弾力性があります。
また、ロープはプラスシンク（よりが縮まる方向にねじれやよりが集中する）やマイナスシンク（よりが戻る方向にねじれやよりが集中する）の状態、強い力でロープを引っ張るとロープが切れやすくなります。このような状態で使うのは危険です。

◎ 煙の特性

- 煙は、上には毎秒3～5m、横へは毎秒0.5～1mの速さで広がる。
- 煙は逃げ道のない天井などにたまり、だんだん下に降りてくる。
- 煙には一酸化炭素や塩素ガスなどの有毒ガスが含まれているので、それを吸うと中毒をおこし、呼吸困難となって死亡することがある。一酸化炭素は、1、2回吸い込むだけで危険である。

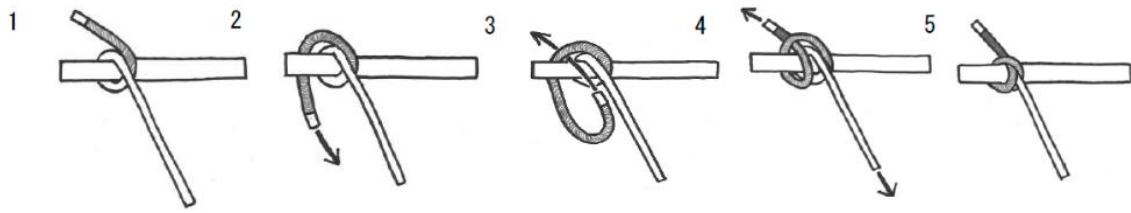
◎ 煙の中から避難するときのポイント

- 避難の時、走ったり、押したり、さわいだりしない。
- ハンカチやタオルを口に当てるなどして、できるだけ煙を吸わないようにする。
- 煙の中では、姿勢をできるだけ低くして逃げる（床上20cmぐらいに新鮮な空気がある）。
- 煙で周囲が見えにくい時は、壁をさわりながら逃げる。
- いったん逃げたら絶対にもどらない。
- 寝ているときは、着替えなどしないで逃げる。
- 幼児やお年寄り、体の不自由な人を先に逃がす。
- 空気の流れを止めるために、窓やドアを閉めてから逃げる。
- エレベーターがあっても途中で止まることがあるので、絶対に使用しないで階段を利用する。



じつぎ つぎ むす かつ
【実技】 次の結び方ができるかな？

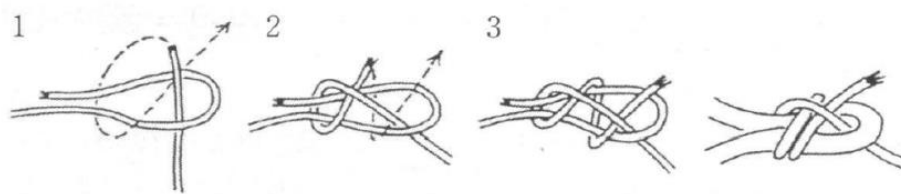
① 巻き結び



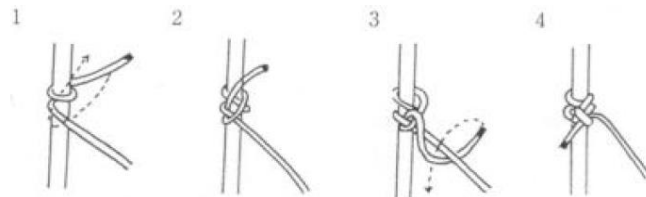
② もやい結び



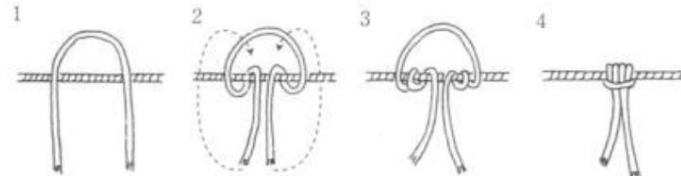
③ 二重つなぎ



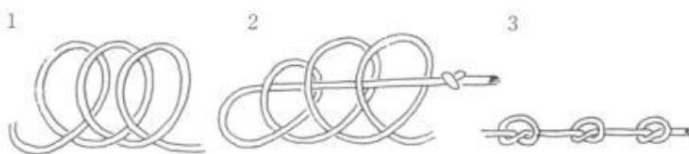
④ 二回り二結び



⑤ ブルージック結び



⑥ 節結び
 結び方



解き方

